

C1638-201

**応用マクロ経済学A****田村 晶子****【授業の概要と目的（何を学ぶか） / Outline and objectives】**

マクロ経済学Aを履修し、基本的な動学モデルを理解した学生を対象に、大学院で国際標準とされるテキストにしたがって、消費、投資、失業、金融・財政政策、といった各論のトピックを講義します。

**【到達目標 / Goal】**

マクロ経済学の標準的な手法を使って、消費、投資、失業、金融・財政政策を理解する。理論の習得のみならず、現実の経済で起きている問題を理解し、解決策を考えられるようにする。

**【授業の進め方と方法 / Method(s)】**

アメリカの大学院でも修士課程で使われている標準的なテキストであるRomer（2012）の後半部分（8～12章）からトピックを抜粋して講義します。モデルの説明が多くなりがちですが、現実の経済問題への視点を持ち、実証分析の紹介も行います。応用的な内容ですが、適宜練習問題を課し、内容の理解を深めます。

**【授業計画 / Schedule】****春学期**

回 / No.	テーマ / Theme	内容 / Contents
第1回	確実性下の消費	恒常所得仮説
第2回	不確実性下の消費	ランダム・ウォーク仮説とその実証
第3回	危険資産と消費	消費CAPMとエクイティ・プレミアム・パズル
第4回	調整費用と投資	離散時間における調整費用のモデル
第5回	トービンのqと投資	トービンの限界のqと平均のq
第6回	トービンのqと投資の実証分析	トービンのqをめぐる議論と実証分析
第7回	金融市場の不確実性と投資	金融市場が不確実な場合の投資の理論と実証分析
第8回	前半授業の復習	前半授業の復習を行い、理解を深める

授業コード Class code	X3021
年度 Year	2016
学部・研究科 Faculty/Graduate school	経済学研究科
添付ファイル名 Attached documents	
開講時期 Term	春学期
単位数 Credit(s)	2
曜日・時限 Day/Period	木曜日・7時限
キャンパス Campus	市ヶ谷
備考 Notes	

第9回	失業と効率賃金モデル	効率賃金モデルの基本型
第10回	サーチとマッチングのモデル	労働市場のサーチとマッチングのモデル
第11回	金融政策と動学的非整合性	キッドランド・プレスコット・モデル
第12回	利子率ルールへの分析	テイラー・ルール
第13回	財政政策の持続性	財政政策の持続性の理論と実証
第14回	後半授業の復習	後半授業の復習を行い、理解を深める
第15回	まとめ	授業のまとめ

**【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等） / Work to be done outside of class (preparation, etc.)】**

テキストを事前の予習してから授業に臨み、不明な点はその場で質問できるようにする。事後的にもテキストを勉強しながら講義ノートを復習することで理解を深める。練習問題に取り組み、理解を深める。

**【テキスト（教科書） / Textbooks】**

David Romer, "Advanced Macroeconomics, 4th edition"  
McGraw-Hill Irwin, 2012（第3版の翻訳：デビッド・ローマー著『上級マクロ経済学、原著第3版』、日本評論社、2010年）講義は第4版に沿って行う予定ですが、第3版の翻訳本でもほぼ内容をカバーできます。

**【参考書 / References】**

テキストで紹介される論文や日本経済への応用論文などを、講義中に紹介します。

**【成績評価の方法と基準 / Grading criteria】**

内容ごとに適宜に出す練習問題を提出（40%）+ 期末試験（60%）

**【学生の意見等からの気づき / Changes following student comments】**

昨年よりも頻繁に、練習問題をトピックごとに課し、テクニカルな部分だけではなく、応用的な解釈の部分を実際に理解し、議論ができるようにする。さらに、前半と後半に復習の時間を設けて、理解を確実にする。

**【担当教員の専門分野等】**

<専門領域> 国際経済学、マクロ経済学、応用計量経済学  
<研究テーマ> 貿易・直接投資と国・企業の競争力  
<主要研究業績>

- ① 「日本のビザ政策と旅行収支」（共著）、武智一貴編『市場取引の多様性と制度の応用経済分析』、日本評論社、2013年
  - ② “The Consistency between Investment Management Process and Business Strategy”（共著）、『経済志林』、法政大学経済学部学会、2013年
  - ③ “China’s international competitiveness: evidence from bilateral trade patterns”, Innovation system and the role of foreign capital, Institute of Comparative Economic Studies, Hosei University, 2008年
- 

閉じる / Close